

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	企画政策課 企画政策担当
------	--------------

事務事業名	移住定住促進事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	政策	③ 未来への活力を育むまちづくり	款	2	総務費
	基本目標	7. 活気あふれるまちづくり	項	1	総務管理費
	施策	7-2 観光交流によるにぎわい創出	目	3	まちづくり推進費
	基本方針	7-2-1 観光の振興	事業	5	移住定住促進事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	移住や定住を希望する方に対し、必要な住居、仕事、生活、地域等をはじめ、移住定住に関する各種支援制度等の情報を提供、発信することで、本市への移住定住を推進することを目的とする。	事業の内容	移住希望者等に対するワンストップ相談窓口を開設し、移住相談の充実に努める。また、移住定住イベント等へ参加することで、本市の魅力について情報発信する。
-------	---	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標	目標	
	移住者数		R2	R3	R4	R5	
指標の説明	転入アンケートの数	人	目標	250	250	250	
			実績	283	195		
		R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算	市民一人あたりのコスト		
関連事業費	事業費	2,906,525	2,526,359	2,611,000	R2	78	
	財源内訳	国県支出金	37,000	37,000	73,000	R3	69
		地方債				各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他	208,000	98,000	16,000	R2	37,243
	一般財源	2,661,525	2,391,359	2,522,000	R3	36,670	

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡充	縮小して継続	判定理由	コロナ禍ではあるが、ふるさと回帰支援センターが東京で開催した「徳島移住フェア」やZoomを活用したオンラインでの移住相談会・フェアに参加し、本市の持つ魅力を広くPRした。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	コロナ禍において対面による相談等が制限される中で、移住希望者のニーズに応じることができるよう、オンラインやSNSを積極的に活用していく必要がある。
今後の方向性	住居、仕事、生活、地域等をはじめ、移住定住に関する各種支援制度等、多種多様な相談に対応することが出来る体制を継続するとともに、オンラインを活用した情報発信に取り組んでいく必要がある。